



## 「新しいお札と金融・金銭教育」

国分北小学校 川野 浩明

先日、子供と話をしていると、「先生、クレジットカードって知ってる？魔法のカードで何でも買えるんだよ。」と言ってきました。わたしが、「うーん、クレジットカードで買ったものは、後で自分で払わないといけないから、何でも買えるって訳じゃないと思うけど。」と言うと、「そうなの？」と不思議そうな顔をしていました。

たぶん、現金を見ることなく、親がカードで支払いをする姿を見て、そう思ったのかもかもしれないと思いました。

7月3日に、お札が20年ぶりに新しくなりました。新しい技術や、採用された人物などが注目されていますが、お金は使い方が大事です。

今、子供たちは、お小遣いなどで持っている現金だけでなく、クレジットカードや電子マネーとよばれるお金など、現金以外で支払う決済手段が使えるような時代になってきています。**現金を見ることなく多種多様なキャッシュレス決済が利用できることから、昔にはなかった金銭感覚が求められています。**

小学校でも2022年から、新しい学習指導要領の家庭科などで、物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えることなどの指導を行っています。また、高校では、資産形成の教育が義務化され、より専門的な学習も実施されているところです。



出典：国立印刷局ホームページより  
(<https://www.npb.go.jp/guide/pamphlet.html>)

**お金をやりくりする能力や、働くことやお金を使うことなどを通して社会と関わり合う力は、現金であろうと電子マネーであろうと変わりません。その使い方が大事です。**



「よく考えよう～ お金は大事だよ～♪」という歌もありますが、子供たちへの金銭教育は、これからの長い人生のことを考えながら、自分で、今必要かどうか判断し、行動するための力を付けていこうと思います。